

学部学生数は 262.4 万人で過去最高！ 首都圏占有率は 40.6%

旺文社 教育情報センター 2020 年 9 月 23 日

2020 年度の大学学部の学生数は 262 万 4 千人で、前年より 1 万 5 千人増加し、過去最多となったことが、先ごろ発表された文部科学省の『令和 2 年度学校基本調査速報』でわかった。ここでは、2020 年度の大学・短大学生数等に関わるデータを紹介する。

■「学校基本調査」とは？

「学校基本調査」は、学校の教育行政に必要な基本的事項を明らかにするために、統計法（国の統計に関する基本法）に基づいて実施される調査。例年、文部科学省が幼稚園・小・中・高校・義務教育学校・中等教育学校・高等専門学校・専修学校および各種学校・大学・短大など、すべての学校を対象に、学校数、在学・卒業者数や入学・卒業後の状況などを調査する。

なお 8 月 25 日に公表された今年度の調査結果（5 月 1 日現在）は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、公表項目は学校数、在学者数、教員数等に限定となった。卒業後の状況など、すべての項目の集計結果の確定値は 12 月に公表予定である。

■大学数・短大数

◆大学は 9 校増、短大は 3 校減

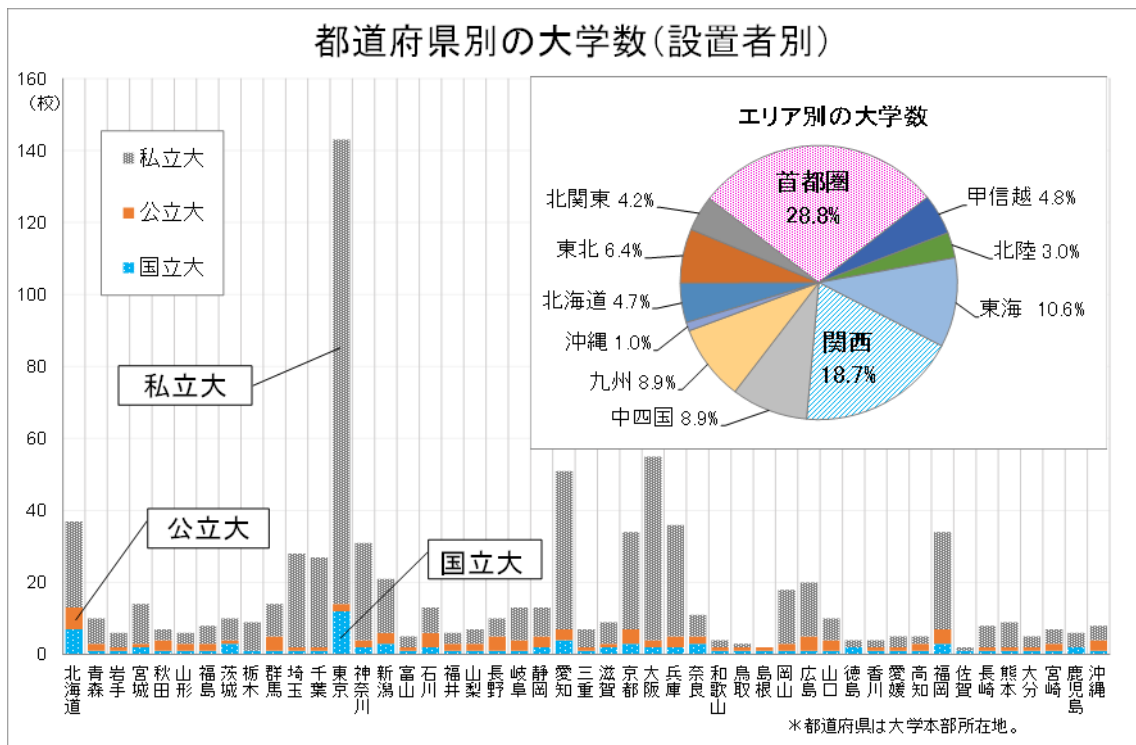
大学数（5 月 1 日現在。大学院大学を含む。通信教育のみを行う大学は除く。以下、同）は、国立 86 校・公立 94 校・私立 615 校の計 795 校で 2019 年度より 9 校増加。設置者別割合は、国立大 10.8%、公立大 11.8%、私立大 77.4%。一方、短大数は、公立 17 校・私立 306 校の計 323 校（前年度より、3 校減）であった。

*本調査では、学生在籍中は学生募集停止の学校もカウントする。

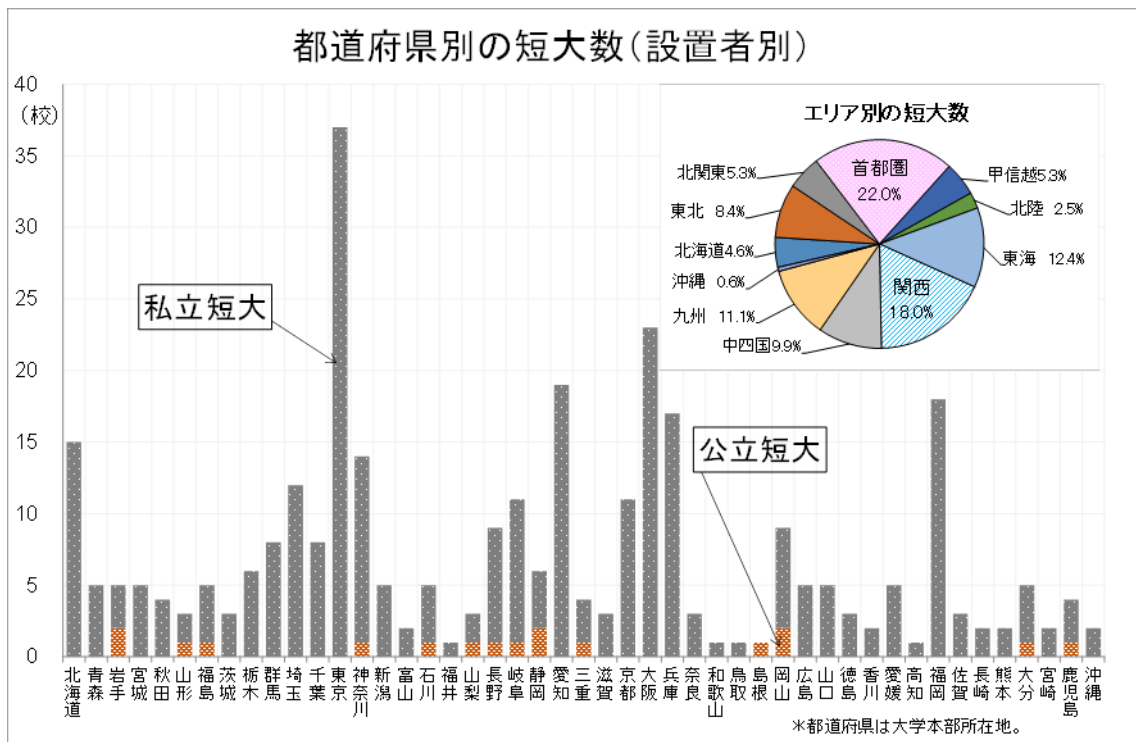
◆エリア別の設置状況： 大学は、東京を筆頭に首都圏が 28.8%を占める

大学の都道府県別では東京が群を抜いて多く 143 校（全大学の 18.0%、以下同）、次いで大阪 55 校（6.9%）、愛知 51 校（6.4%）、北海道 37 校（4.7%）、兵庫 36 校（4.5%）、福岡・京都が各 34 校（4.3%）など。これを拡大エリア別にみると、首都圏<埼玉・千葉・東京・神奈川>229 校（28.8%）、関西 149 校（18.7%）、東海 84 校（10.6%）など、大都市圏を要する各エリアに集中している。

なお、設置者別では、国立大では東京 12 校、北海道 7 校、公立大は北海道が 6 校など。私立大は東京が 129 校で最も多く、私立大全体の 21.0%を占める。



一方、短大の都道府県別でも東京が群を抜いて多く 37 校（全短大の 11.5%、以下同）、次いで大阪 23 校（7.1%）、愛知 19 校（5.9%）などとなっており、大学に比較するとやや分散しており地元密着型であることがうかがえる。これを拡大エリア別にみると、首都圏 71 校（22.0%）、関西 58 校（18.0%）、東海 40 校（12.4%）などとなっている。

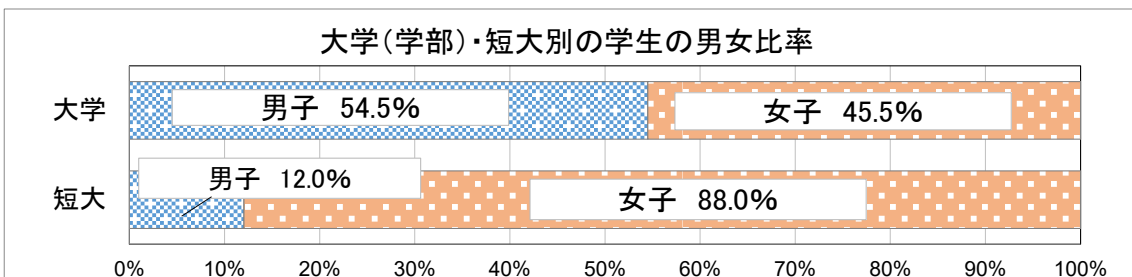


■「学部」学生数の状況

◆学部学生数：女子占有率は45.5%で過去最高

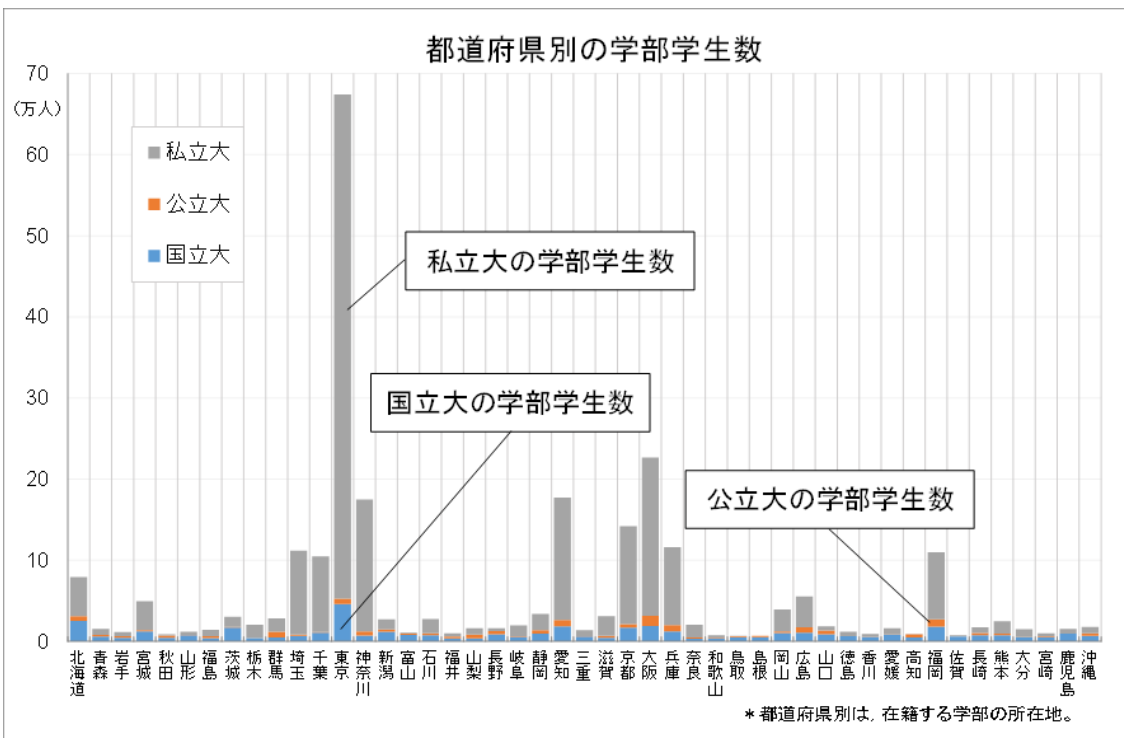
学部の学生数は262万4千人で、前年度より1万5千人増加した。設置者別の学部学生数は、国立大が43万5千人（全学部生の16.6%、以下同）、公立大が14万人（5.3%）、私立大が204万9千人（78.1%）で約8割を私立大生が占めている。

男女別では、女子の学生数が119万4千人で、前年度より1万人増加。その占める割合は45.5%（同、0.1ポイント増）と、人数・割合とも過去最高となった。

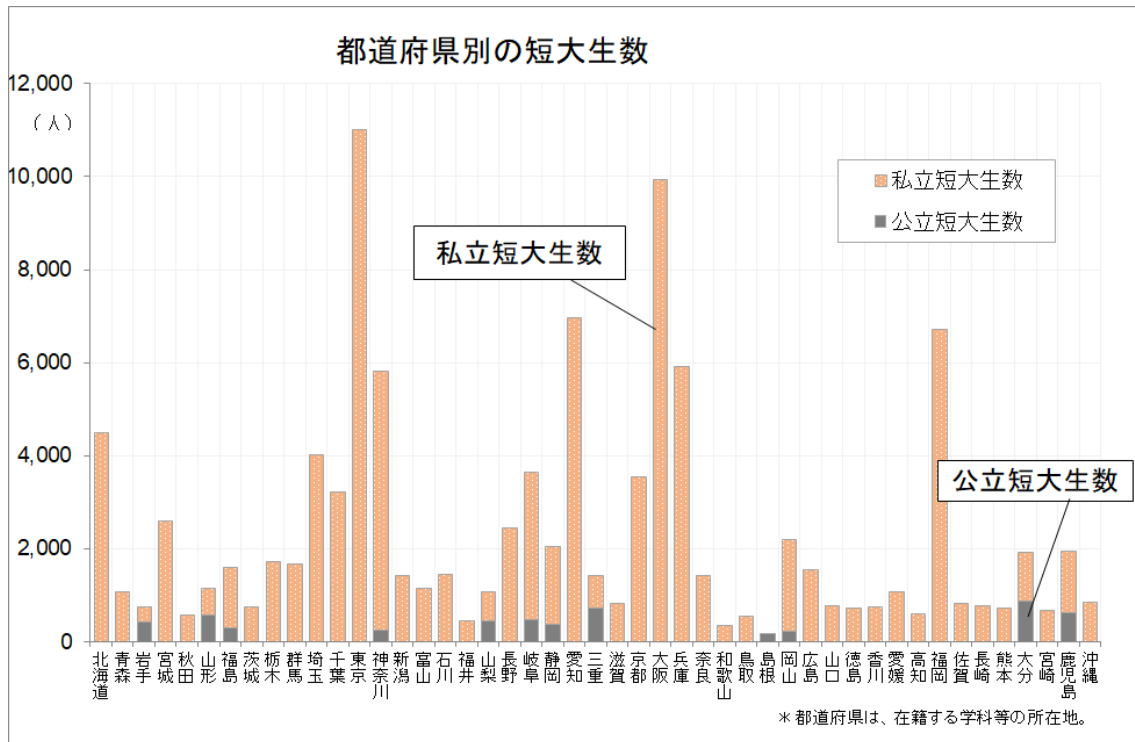


◆エリア別の学部学生数：首都圏が40.6%を占める

学部学生の都道府県別では東京が67万4千人（全学部生の25.7%、以下同）で、次いで大阪22万6千人（8.6%）、愛知17万7千人（6.8%）、神奈川17万5千人（6.7%）など。また拡大エリアでみると、首都圏が100万人を超え（106万5千人）、40.6%を占める。次いで関西が54万4千人（20.7%）、東海が24万5千人（9.3%）などとなっている。



一方短大生の状況は、設置者別で私立短大が 94.8%と大多数を占めており、各エリアの短大生数はそれが反映されている。都道府県別では東京が 1 万 1 千人（全短大生の 10.2%）と最も多い。次いで大阪 1 万人（9.2%）、愛知 7 千人（6.5%）、福岡 7 千人（6.2%）などとなっている。



なお「学校基本調査速報」とは別に、現在募集している学部・学科の数、学問分野の傾向等に関する分析（旺文社教育情報センターによる）は、こちらを参照していただきたい。

<http://eic.obunsha.co.jp/resource/viewpoint-pdf/202004.pdf>

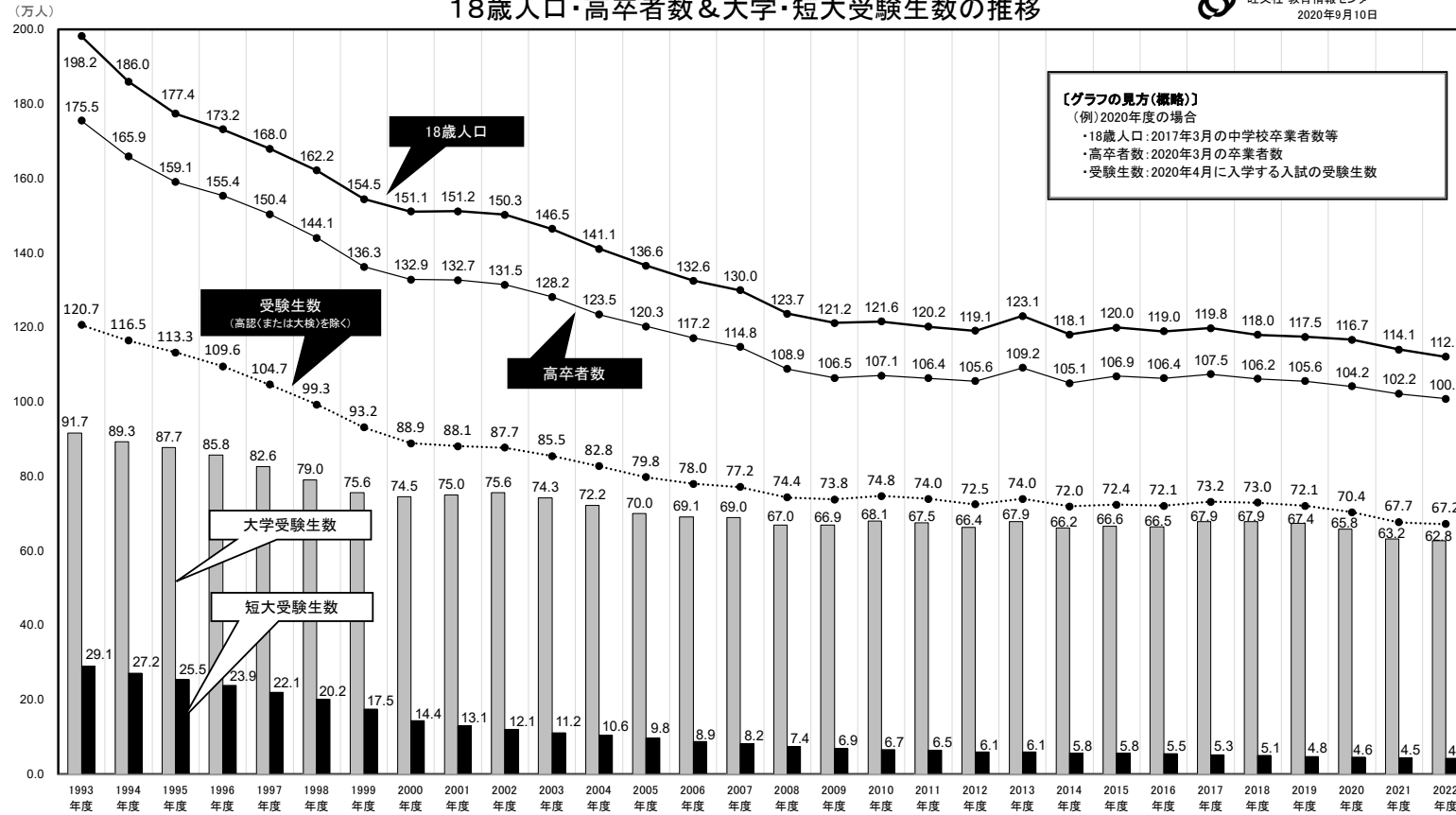
* * *

2021 年度「大学・短大受験者数」は 67.7 万人

2020 年度の学部学生・短大生の在籍状況は前述の通りであった。2021 年度入試は混迷の中、すでにスタートを切っている。現役志向、地元志向がみられそうだが、受験生数の減少や進学率の動向次第では、大学、短大への入学者の減少が生じよう。そこで旺文社教育情報センターでは、今後の大学及び短大受験生数（高認を除く）を予測した。2021 年度の受験生数は 67 万 7 千人（前年度 3.8%減）。内訳は、大学受験生数が 63 万 2 千人（同 3.9%減）、短大受験生数が 4 万 5 千人（2.4%減）となるもよう。（2020.9 常盤）

※次ページに「18 歳人口・高卒者数&大学・短大受験生の推移」グラフを掲載

18歳人口・高卒者数 & 大学・短大受験生数の推移



【グラフの見方(概略)】
(例)2020年度の場合
 ・18歳人口:2017年3月の中学校卒業生数等
 ・高卒者数:2020年3月の卒業生数
 ・受験生数:2020年4月に入学する入試の受験生数

大学・短大 進学率*(%) (含む過年度卒)	40.9	43.3	45.2	46.2	47.3	48.2	49.1	49.1	48.6	48.6	49.0	49.9	51.5	52.3	53.7	55.3	56.2	56.8	56.7	56.2	55.1	56.7	56.5	56.8	57.3	57.9	58.1	57.6	56.4	56.9
大学・短大 現役志願率*(%)	52.4	53.4	54.2	54.4	54.6	55.0	55.5	55.6	55.9	56.1	55.7	55.7	55.9	57.4	58.8	60.1	61.2	61.8	61.3	60.6	60.4	60.4	60.8	61.1	61.5	61.8	61.2	60.9	60.5	60.3

【注】学校基本調査より算出。2019年以前は実数、2020年以降は旺文社による推定値。18歳人口は、3年前の中学校卒業生数、中等教育学校前期課程修了者数および義務教育学校卒業生数の合計。
 受験生数は、高等学校卒業程度認定試験(2005年度まで大学入学資格検定)合格者を除く。